

2022年10月31日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島復興本社

**福島復興本社における  
賠償・環境再生・復興推進等に関する取り組み状況  
～福島復興への責任を果たすために～**

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1 ～ 2
○ 福島復興へ向けた取り組み	_____	3 ～ 9

# 原子力損害賠償の進捗状況について

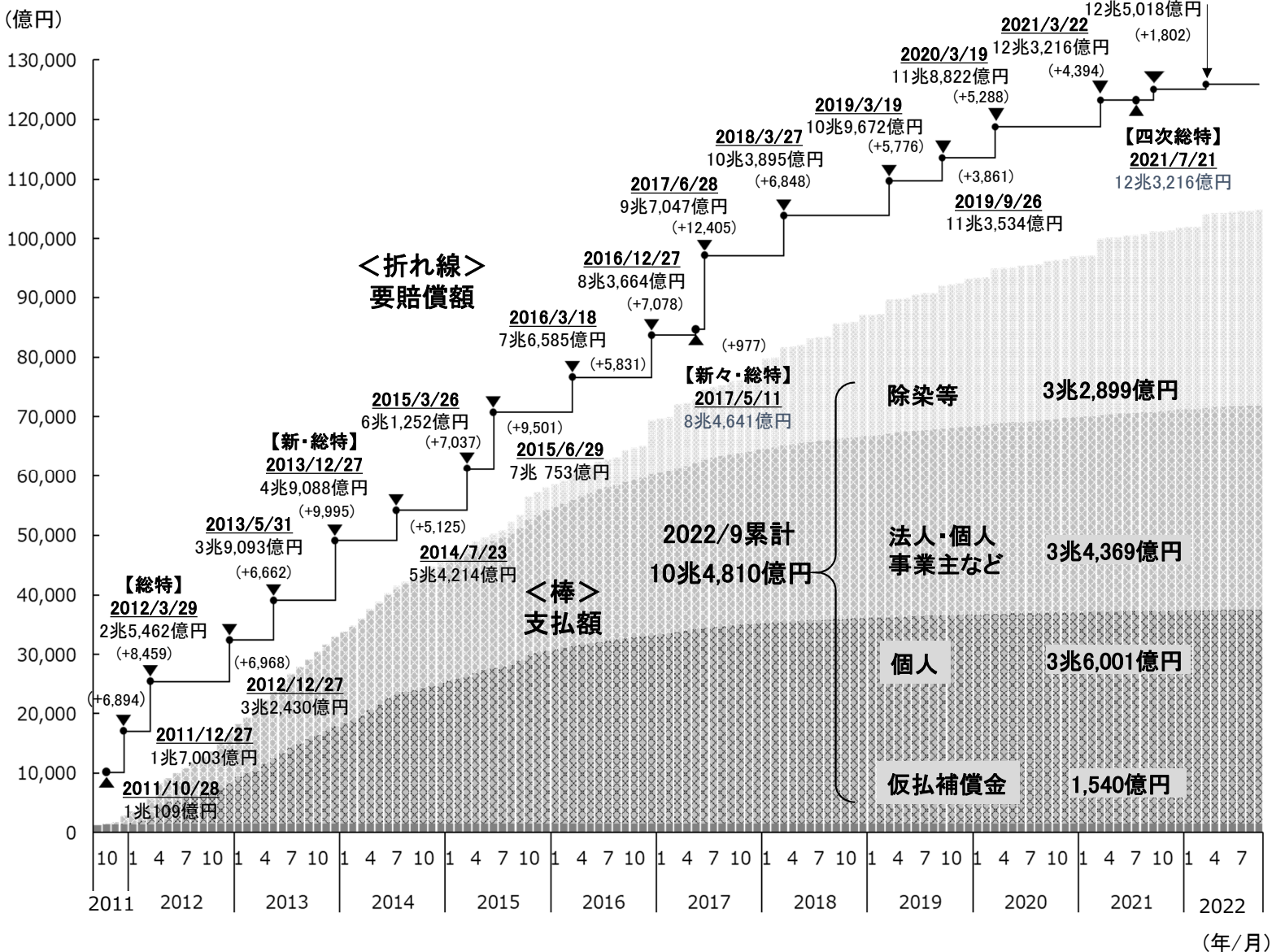
<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

2022年9月30日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
<b>ご請求について</b>		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,454,000件	約544,000件
<b>本賠償の状況について</b>		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,316,000件	約465,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆6,001億円	約6兆7,268億円
<b>これまでのお支払い金額について</b>		
本賠償の金額 ※2		約10兆3,270億円 ①
仮払補償金		約1,540億円 ②
お支払い総額		約10兆4,810億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (2022年3月22日資金援助額変更申請)	賠償合意実績* (2022年9月末現在)
<b>I. 個人の方に係る項目</b>	<b>20,834億円</b>	<b>20,116億円</b>
検査費用等	3,493億円	2,826億円
精神的損害	10,995億円	10,952億円
自主的避難等	3,624億円	3,624億円
就労不能損害	2,721億円	2,713億円
<b>II. 法人・個人事業主の方に係る項目</b>	<b>33,057億円</b>	<b>31,948億円</b>
営業損害	5,594億円	5,504億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	19,526億円	19,277億円
一括賠償(営業損害、風評被害等)	3,320億円	2,629億円
間接損害等その他	4,617億円	4,536億円
<b>III. 共通・その他</b>	<b>22,484億円</b>	<b>19,846億円</b>
財物価値の喪失又は減少等	15,447億円	14,770億円
住居確保損害	6,787億円	4,825億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
<b>IV. 除染等**2</b>	<b>49,488億円</b>	<b>32,899億円</b>
<b>合計</b>	<b>125,865億円</b>	<b>104,811億円</b>

\*1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 83%】

\*\*2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 (精神的損害・就労不能等に伴う損害・検査費用・避難、帰宅、一時立入費用・生命、身体的損害等)	9月:法人本賠償 (営業損害・出荷制限指示等による損害・風評被害・間接損害等)
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2022年9月30日現在

申立件数		28,494件
解決件数	全部和解件数	21,910件
	取下げ件数	3,143件
	打切り件数	2,448件
	却下・和解の仲介をしない	2件
	現在進行中の件数	

\*申立件数のうち、当社に送達がなされているのは28,391件(9月30日現在)、月平均で約101件(2022年)

出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより

\*現在進行中の件数のうち、14件は一部和解が成立している

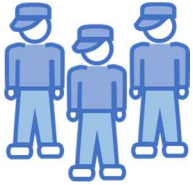
\*和解金額は約3.447億円

# 福島復興へ向けた取り組み

## 福島復興へ向けた取り組み実績

### ■ 2022年9月までの実績

#### 環境再生・復興推進活動



**活動人数**  
**1,073,803人**  
(前月比+5,020人)

復興本社設立(2013年1月)からの累計

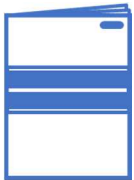
#### 環境再生・復興推進活動



**対応件数**  
**3,360件/年度\***  
(前月比+301件)

※2022年度の累計

#### 原子力損害賠償



**賠償お支払総額**  
**約 10兆4,810億円**  
(前月比+161億円)

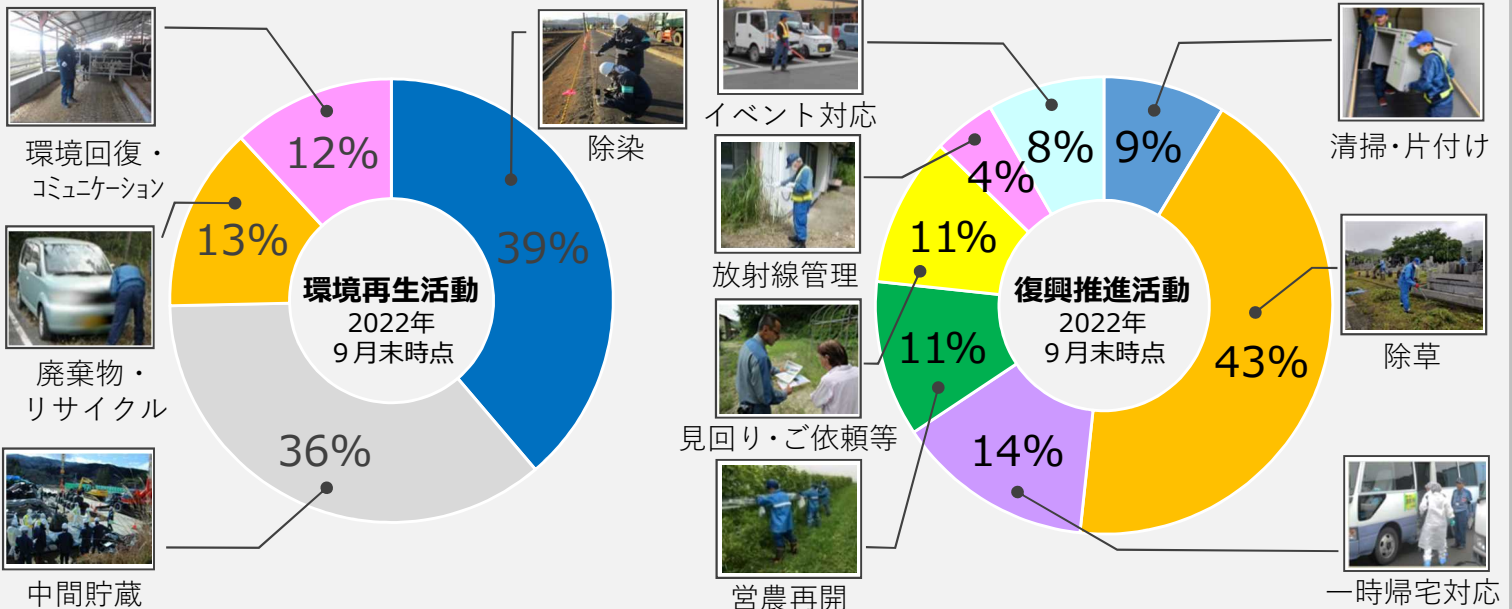
#### 流通促進活動



**イベント開催日数\***  
**21,528日**  
(前月比+884日)

ふくしま流通促進室発足(2018年2月)からの累計  
※イベント開催・・・試食販売会・飲食店フェア等

### ■ 環境再生・復興推進活動の業務別割合



### ■ 今後の主な活動予定

【凡例】【環】・・・環境再生活動 【復】・・・復興推進活動 【流】・・・流通促進活動 【他】・・・その他

【復】 11月地域行事・イベントへの協力

【流】 11月の福島県産品販売会の主な開催予定(①～④)

〔小売店催事〕

①クイーンズ伊勢丹(15店舗)様	11月10日(木)～13日(日)	③リオン・ドール(69店舗)様	11月11日(金)～14日(月)
②小田急百貨店新宿西口ハルク様	11月11日(金)～13日(日)	④東急渋谷ヒカリエ様	11月25日(金)～27日(日)

# 福島復興へ向けた取り組み①

## 大熊町における営農再開に向けた取り組み

### 取組内容

- 大熊町のご依頼により、町の営農再開に向けた取り組みとして、昨年に続きイベント用のサツマイモ栽培のお手伝いを4月の農地整備から10月の収穫まで行いました。
- また、今後の出荷制限解除に向けて、水稻の試験栽培のお手伝いを行いました。

### サツマイモ栽培のお手伝い



収穫前事前準備(つる切り)【2022年10月19日】



収穫【2022年10月26日】

### 水稻栽培のお手伝い



田植え後の様子【2022年5月】



稲刈り【2022年10月12日】

- 今後も大熊町のご要望をお伺いしながら、さまざまな取り組みを通じてご帰還された住民の皆さまの営農再開の一助となれるよう取り組んでまいります。

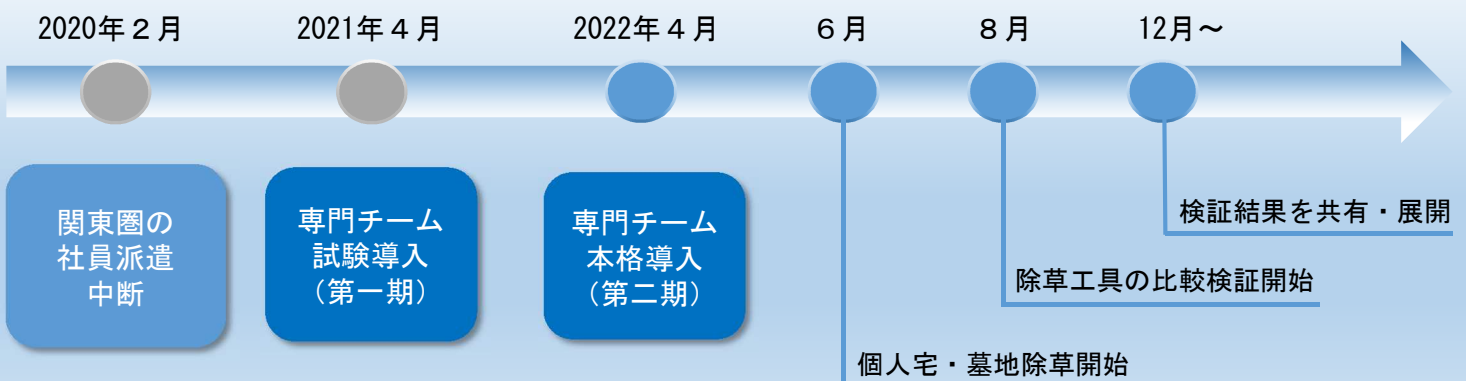
# 福島復興へ向けた取り組み②

## 新たな取り組み「除草専門チーム」のご紹介

- 2021年4月より、除草の経験豊富なメンバーを集めた「除草専門チーム」を組織し、効果的な除草方法や安全性等を検証しています。
- 当社の復興推進活動は、新型コロナウイルスの感染拡大により、福島に常駐する社員のみで行っており、検証した内容を取り入れながら、今後も地域の皆さまのご依頼にしっかりとお応えできるよう取り組んでまいります。

### 「除草専門チーム」導入の流れ

#### ■ 設置までの流れと今年度のスケジュール



#### ■ 活動実績

年度	メンバー人数	除草対応件数	活動人数
2021年度	4名	77件	240人・日
2022年度	6名	138件	377人・日

2022年度は9月末時点



TBM-KYの様子



刈草集積の様子

# 福島復興へ向けた取り組み②

## 新たな取り組み「除草専門チーム」のご紹介

### 主な検証事例

#### ■ 刈払機の刃の違いによる飛び石の飛散量の検証（安全性）

検証方法	刈払機に取り付けた種類の違う刃で小石を飛散させ、新聞紙を貫通した数を集計
検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナイロンカッターは広範囲を刈払いできるが、飛び石量が多く周囲の設備を損傷させる可能性があるため、山間部の進入路や墓地周辺などに適している。</li> <li>カルマーは、ナイロンカッターに比べて重量があり、刈払い機の操作性は落ちるが、飛び石量が少なく障害物と接触した時の跳ね返りが起きにくいいため、建物や付帯設備周辺などに適している。</li> </ul>



飛び石飛散量の調査

刃の種類	ナイロンカッター	チップソー	カルマー
飛び石平均数	293個	7.7個	0.7個
飛石量	多い	比較的少ない	少ない
メリット	・広範囲に刈れる ・設備を傷つけにくい	・硬い草、柔らかい草の両方が刈れる万能型	・飛び石量が少ない ・障害物の際まで刈れる
デメリット	・飛び石量が多い ・硬い草が刈れない	・金属刃で設備を傷つける	・重く操作性がやや落ちる ・高額でコストがかかる

#### ■ 刈草の運搬時間、運搬量の検証（効率化）

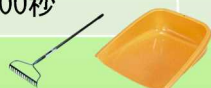
検証方法	種類の違う工具を使用して、刈草を集積場所まで運搬する時間や運搬量を比較
検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来はレーキで集積した刈草を、てみで数回に分けて運搬していたが、フォークを活用することで、一度に多くの集積した刈草を運搬でき、作業時間を短縮できる。</li> <li>大量の刈草を運搬する場合、従来はブルーシートを使用していたが、隙間から刈草が落ちやすく、持ち手がないため、体勢が不安定になり転倒の恐れがあった。ふご袋※は自立型で詰め込み易く、持ち手があるため、安全に大量の運搬が可能となり、単独でも作業が容易にできる。</li> </ul>

「レーキ+てみ(左)」と「フォーク(右)」の運搬時間の比較



#### 作業時間

レーキ+てみ	フォーク
2分00秒	1分10秒



「ブルーシート(左)」と「ふご袋※(右)」の運搬量の比較



#### 運搬量

ブルーシート	ふご袋※
10kg	21kg

※「ふご袋」…わらを編んだ袋。自立するタイプなどがあり、刈草や枝葉の収容、農作業や造園作業などで幅広く使用されている。

# 福島復興へ向けた取り組み③

福島県産品の流通促進の取り組み  
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催 11月予定～



「発見! ふくしま」キャンペーン ～あがらんしょ 秋の恵みの大感謝祭～開催中!!

## ◎ ECサイトキャンペーン ～贈ろう 食べよう ふくしま秋の恵み2022～

開催期間 11/1(火)～12/16(金)

キャンペーン特設サイト →



- 福島県産品通販サイト「ふくしま市場」と連携して販売促進キャンペーンを開催いたします。
- 期間中ふくしま市場の商品が**最大30%OFF**で購入いただけます。
- 「お友達紹介キャンペーン」として**先着600名様にプレゼント**もご用意しています。
- 福島食材を使用した「発見! ふくしま」**オリジナルおせち**も販売いたします。

ふくしま初夢おせち

初販売!

秋冬ECサイトキャンペーン



書道家 千葉清藍氏監修のオリジナル風呂敷付き

※写真はイメージです

## ◎ 「全国ふるさとフェア2022」への出店

開催期間 11/3(木・祝)～11/6(日)



- 横浜赤レンガ倉庫(神奈川県横浜市)にて全国の特産品を集めて3年ぶりに開催される**全国ふるさとフェア**と連携し、福島県産の食材を使った**キッチンカー**や**福島県PRブース**を出店いたします。



初出店!

※写真はイメージです



## 福島復興へ向けた取り組み③

福島県産品の流通促進の取り組み  
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催 11月予定～



### ◎ 発見！ ふくしまお魚まつり in ジャパンフィッシャーメンズフェスティバル

開催期間

11/17(木)～11/20(日)

- 日比谷公園(東京都千代田区)にて「**ジャパン フィッシャーメンズ フェスティバル2022**」と連携し、福島県産水産物「**常磐もの**」をPRするイベントを開催いたします。
- 出店8ブースでは、常磐ものを使用したメニューを**25,000食**ご用意し、県産日本酒も販売します。

「常磐もの極み握り」  
キッチンカーで初提供!



発見！ ふくしまお魚まつり6回目開催  
(日比谷公園では2回目)



※写真は昨年の様子

### ◎ 発見！ ふくしま新米フェア「あがらんしょ 秋の恵みの大感謝祭 in 二子玉川」

開催期間

11/19(土)～11/20(日)

- 二子玉川ライズ ガレリア(東京都世田谷区)にて、**福島県産の新米PRイベント**を開催いたします。
- マルシェやキッチンカーによる新米を使用したメニューの提供やステージイベントも開催いたします。



好評につき2回目の  
新米イベント開催



※写真は昨年の様子

## 福島復興へ向けた取り組み④



福島県産品の流通促進の取り組み  
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催 実績～

### ■ LIVE AZUMA 2022 in あづま総合運動公園(10/15～16)

- あづま総合運動公園(福島市佐原字神事場)にて初開催された大規模参集型音楽イベント「LIVE AZUMA 2022」と連携し、会場にてキッチンカーやマルシェを出店いたしました。



### ■ PLAY PARK FUKUSHIMA IN 四季の里イベント(10/22～23)

- 四季の里 福島市農村マニファクチャー公園にて、キッチンカーの出店やマルシェを開催いたしました。
- 2日間で約10,000人の来場者に福島県産品の美味しさや魅力をお伝えいたしました。



キッチンカーやマルシェ出店

### ■「発見! ふくしま」キャンペーンオープニングイベント開催(10/22～23)

- 四季の里 福島市農村マニファクチャー公園にて、現在開催中の「発見! ふくしま」キャンペーンのオープニングイベントを開催いたしました。



ステージの様子